

平成 22 年度（2010 年度）
有害紫外線モニタリングネットワーク担当者会議議事録

日 時：平成 22 年 11 月 29 日（月） 13:00 ～ 17:00

場 所：KKR ホテル東京 11 階（丹頂の間）

出席者：（敬称略）

- ・五十嵐聖貴（北海道立総合研究機構）
- ・横関信之（国立環境研究所 陸別成層圏総合観測室）
- ・永井雄人（青い森アップル環境ネットワーク）
- ・望月映美（日本ロレアル株式会社）
- ・芳住邦雄（共立女子大学）
- ・坪田幸政（桜美林大学）
- ・筆保弘徳（横浜国立大学）
- ・竹下秀（東海大学）
- ・竹崎重郎（湘南工科大学）
- ・長谷正博（名古屋大学）
- ・早川和秀（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター）
- ・小波秀雄（京都女子大学）
- ・洞崎和徳（鳥取県衛生環境研究所）
- ・片岡敏夫（岡山県環境保健センター）
- ・矢幡良二（佐賀県環境センター）
- ・上野一憲（熊本県保健環境科学研究所）
- ・豊永悟史（熊本県保健環境科学研究所）
- ・溝口進一（宮崎県衛生環境研究所）
- ・堀内理美子（宮崎ハマユウ会）
- ・金城芳秀（沖縄県立看護大学）

事務局（国立環境研究所）：

町田敏暢、高見昭憲、小野雅司、樽井義和、津田憲次、大橋真理子

オブザーバー

- ・佐々木政子（東海大学）
- ・青島武（英弘精機株式会社）
- ・大久保憲郎（英弘精機株式会社）
- ・吉田秀司（英弘精機株式会社）

議 事 録

- ・開会のあいさつ
- ・各局紹介
- ・オブザーバー紹介
- ・事務局紹介

(1) データ収集・検証作業状況報告

メーカー準器劣化の問題がありますが、今年度中には補正を終え、確定データをお知らせする予定（現在進行中）。

(2) 各測定局の活動状況報告

(確認事項)

- ・UV インデックスを推定する方法については、HP を参照して頂く。
また、具体的な変換方法につきましては（今年度中は）事務局がサポートいたします。
- ・企業とのタイアップは各局の判断に委ねます。
- ・UV インデックスに対するより具体的な影響については、今後も考えてゆく必要性がありますが、UV インデックスという国際指標を現状では使ってゆくほかないと思います。

(3) 来年度以降の運営体制について

- ・来年度以降も、国立環境研究所地球環境研究センターが事務局を勤めます。
代表者は高見昭憲になります。
- ・事務局の仕事は、
 - ホームページ管理、
 - ファイル交換サーバー維持、
 - FTP サーバー（データ保管用サーバー）維持、
 - 速報値（UV インデックス）の公開、となります。

・屋内校正の今後

東海大学で行っている屋内校正方法を英弘精機に完全に移管する。

しかし、今はまだ無理なので屋内校正を開始して半年程度は東海大学も共同でクロスチェックの体制をとります。また、このクロスチェックに掛かる費用は事務局で検討します。

MS-210W は屋内校正に問題があるので引き続き調査を継続して頂きます。

・測定器全般に関する問い合わせは英弘精機へ、その他の問い合わせは事務局へ。

・データ検証の流れ

ホームページの『データ処理ガイド』を参考にしながら各局でデータ検証を行います。また、宇土局の検証用エクセルファイルは、他局からの要請があれば提供してもよいとの約束を頂きました。

(質疑応答、コメントと事務局の回答)

・公開用の特別値ファイルの名前は、他のユーザが見ても判るファイル名を考えてほしい。

⇒FTP サーバーに既に確定値として用意しているファイル名：

(「局名_h_西暦(4桁)_月(2桁).csv」) を参考に必要なら変更して頂く。

・(事務局が縮小にあたり) 来年度以降、年に1、2度の全体のチェックをするか？

⇒事務局では対応できません。

- ・データ検証は自局で行う、会議も最後とのことだが、今後の維持は何とかならないか？
- ・各局でデータを共有するときは、いつデータ更新をしたかを伝えるのが大事。
- ・UV 事務局の重要性を認識して年に1、2回でよいので情報発信してほしい。
- ・メーリングリストを作って情報共有したらどうか？
- ・この担当者会議がなくなると不安になる。
- ・たとえば大学が外部資金、科研費、助成金を申請したい場合、他の参加機関があると通りやすい。(環境研とかに) マネジメントをお願いすることができないか？
- ・東海大が中心となりつつ、他局が協力という形で行けば良い流れになるのでは。
- ・メーリングリストがあれば、一括で参加者を募ることができる。
- ・(年に一度くらい) HTTP サーバーに各自が報告書をサブミットして、開示するという方法なら小さな事務局でも可能かもしれない。

⇒①メーリングリストを立ち上げて対応させていただきます。

②今後も毎年、各局から活動の報告をして頂きたいと思います。

年度末（〆切3月31日）を目処に、各局から活動報告書をファイル交換サーバーにアップして頂き、メンバー同士で情報交換をして頂きたいと思います。そのために、ファイル交換サーバーに専用のフォルダを用意させていただきます。報告書の書式は原則自由とさせていただきます。

- ・ Webを使った会議ならコストもかからないが、顔を合わせる会議に意味があるという意見もある。
- ・ 環境研は助成金を確保できないのか？

⇒担当者会議の開催は対応しかねます。

・ HP「お知らせのページ」にこういう情報を載せてほしい。

⇒UV ネットメンバー用ページの「お知らせ」情報は、ご要望があれば対応致します。直接、事務局までご連絡ください。

- ・ UV インデックスの基準の確立が大事。一般人はリアルタイムデータが知りたい。
- ・ 例えば、ネイルサロンで UV を浴びる量も積算するとばかにならない。いかにあたって
いる時間を示すのが大事かということ。「非常に強い」「やや強い」などでは曖昧。

⇒UV インデックスは信用性の高い国際規格です。色分け、数値で危険度の基準を知らせています。また、個人差も大きいので、何分あたると危険かということは一概には言えないと思います。

(データ利用について)

・ データ取扱要綱 Rev 3 承認

⇒既にホームページに掲載してあります。

以上